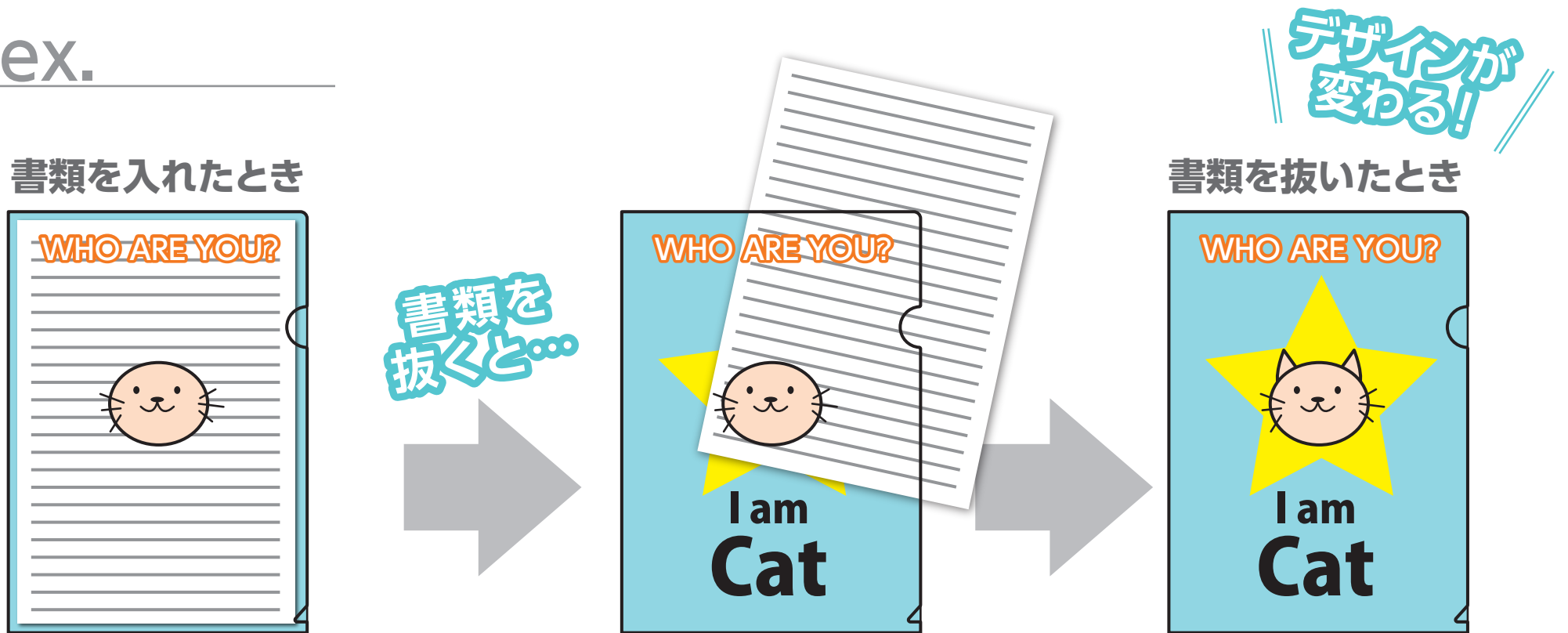


マジッククリアファイルとはクリアファイルの透明性を活かして、書類の抜き差しによってデザインが変わるクリアファイルです。

ex.



カラー版はこうなっています!



白版はこうなっています!

青色とピンク色の部分に白が印刷されます。

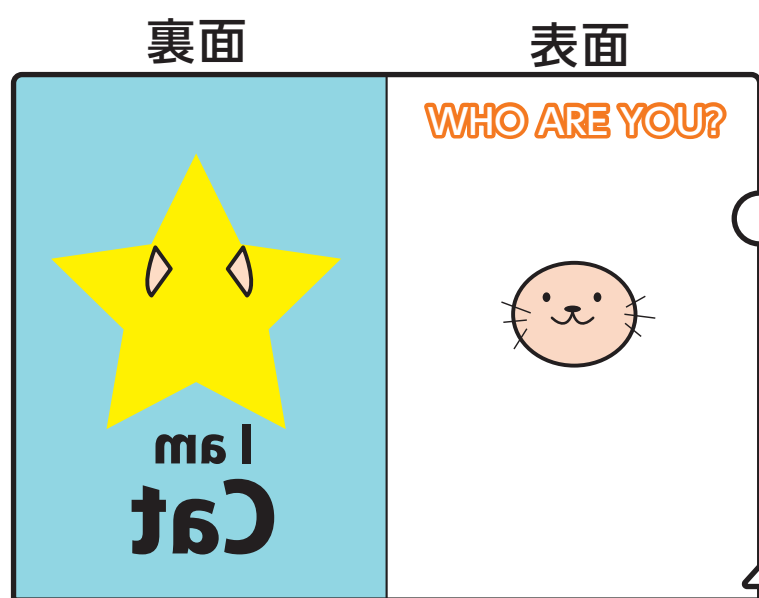


※白版はスウォッチにある **White** と **White2** をご使用ください。  
データ上の見た目は青色とピンク色になりますが、印刷は白インキで行います。

## ○データ作成方法○

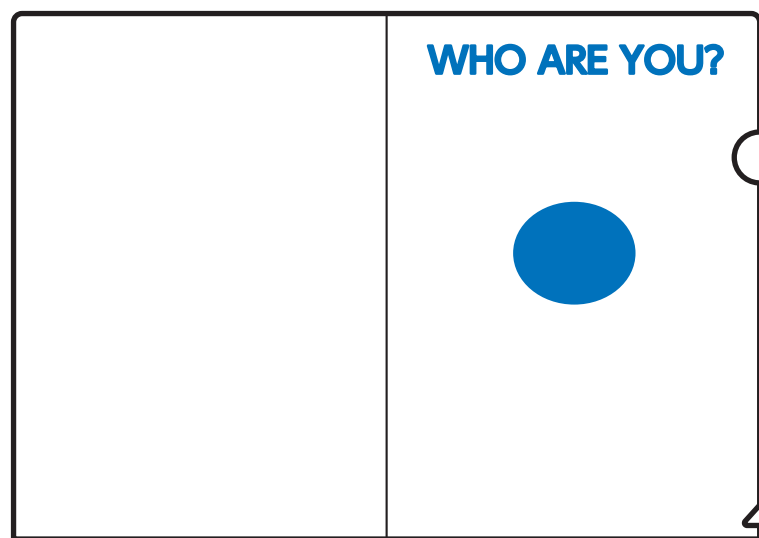
※印刷用データは必ずeps形式、pdf/x-4形式ではなく、**AI**もしくは**PSD**形式でご入稿ください。

マジッククリアファイルの入稿データは  
「プロセスデータ」、「**白データ1**」、「**白データ2**」の  
3つの印刷用データと  
**仕上り確認用のイメージ画像**が必要です。



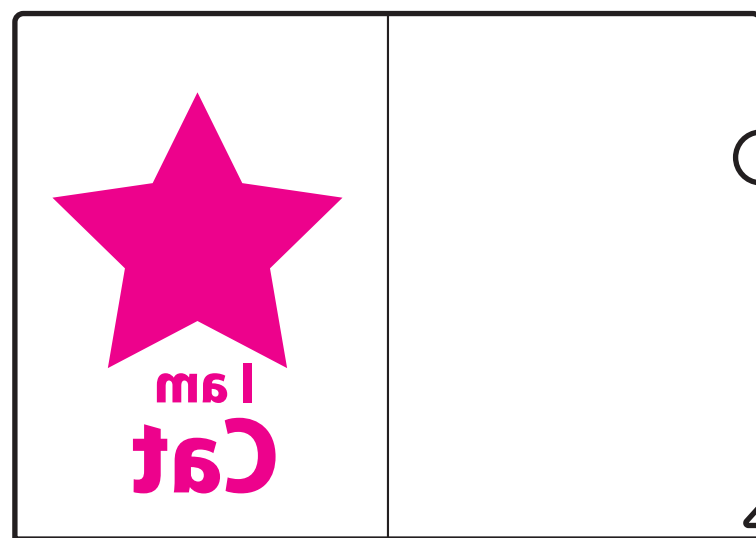
①プロセスデータ

プロセスデータは  
表面にくるデザイン1、中面にくるデザイン2を  
**ひとつ**にしてください。  
その際、中面にくるデザイン2は  
**反転して裏面部分**に配置してください。



表面にくるデザインの白データ **White**

②白データ1



中面にくるデザインの白データ **White2**

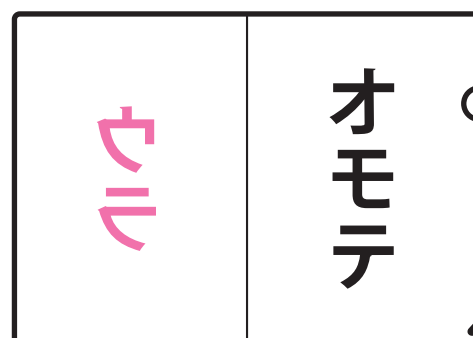
③白データ2

白データは表面用、中面用で**2つ**に分けてください。

**White** **White2** の特色スウォッチを必ず使用してください。

中面の白データは**反転して裏面部分**に配置してください。

弊社テンプレートは印刷の関係上、クリアファイルを展開したかたちになっています。  
中面にあたるデザインは裏面に反転して入ります。  
デザインを作成したら、**必ず弊社テンプレート**  
**にあてはめてご入稿ください。**

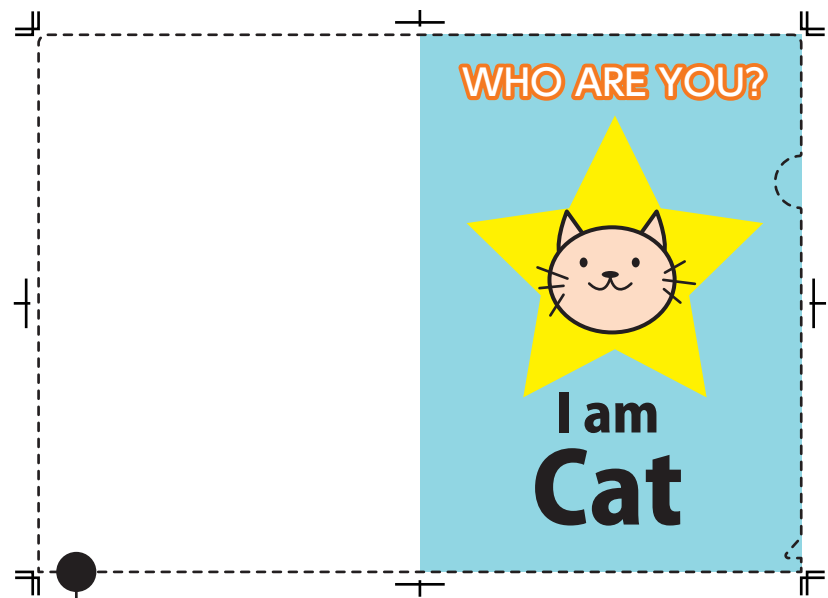
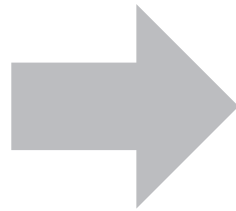


# ○オススの作成方法○

1 弊社テンプレートの表面を使用して、紙を抜いた状態のデザインを考えます。



仕上がり想像図



製品になったときのガイドが引かれています。仕上がり線といいます。

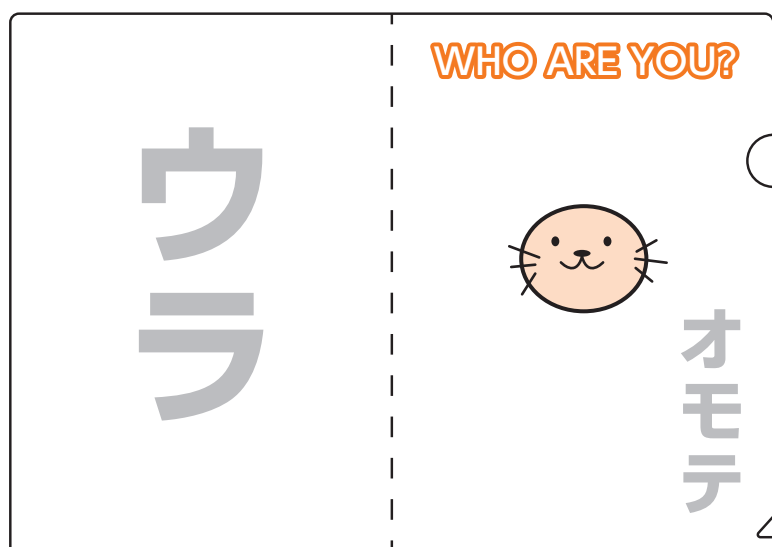
2 次に紙を入れた状態のデザインを考えます。

「紙を入れても見えるようにしたい部分を表面にくるデザインに」

「紙を入れると見えなくなるようにしたい部分を中面にくるデザインに」

と考え、1で考えたデザインを分けます。レイヤーで分けて考えるとわかりやすいです。

## 表面にくるデザイン



山

紙を入れても見える

## 中面にくるデザイン



谷

紙を入れると見えない

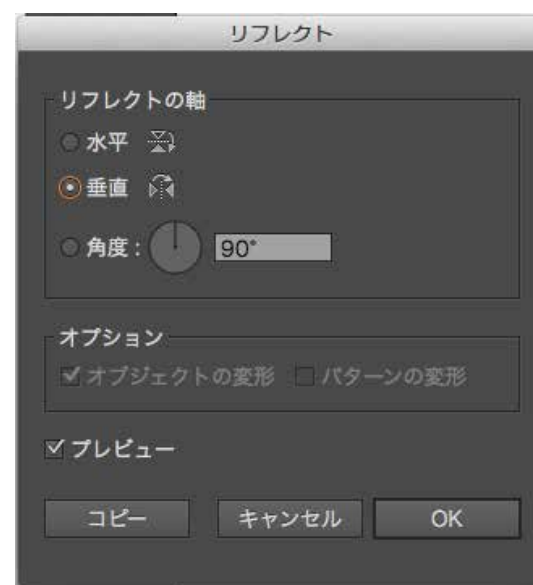
# 3

「中面にくるデザイン」を反転して裏面に配置します。  
「表面にくるデザイン」はそのままでOKです。



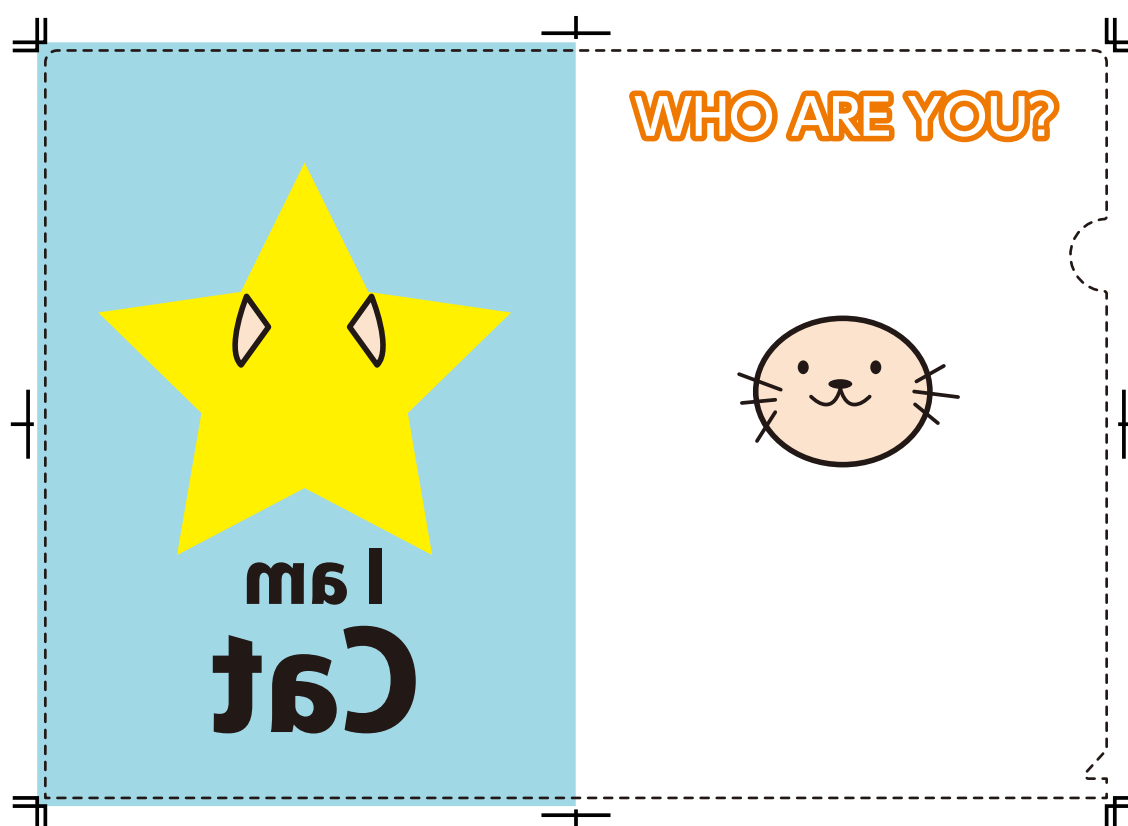
※赤が選択した部分です。

トンボと中面にくるデザインのみを選択して反転します。



オブジェクト→変形→リフレクト(垂直90度)で出来ます。

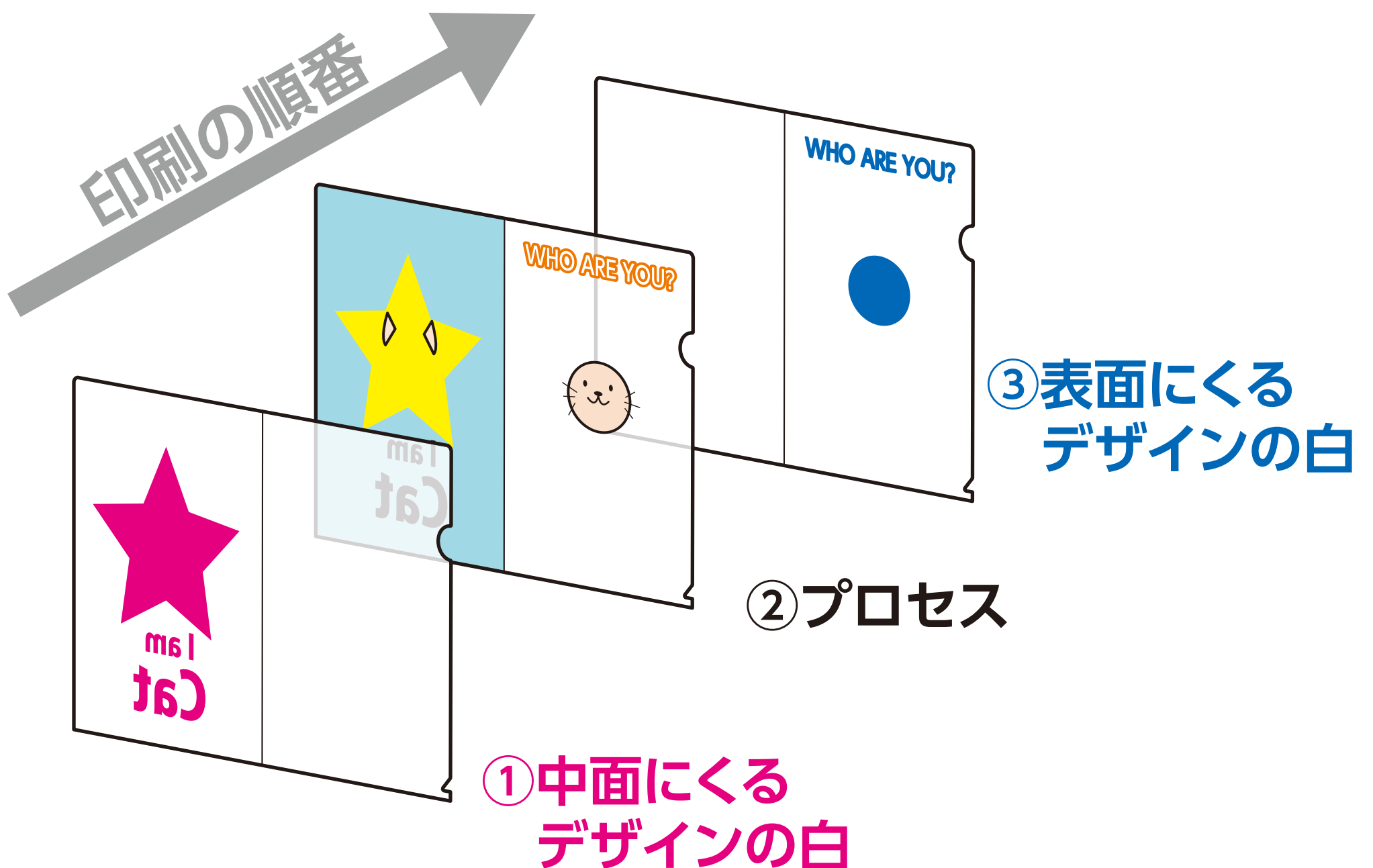
これで、プロセスデータの完成です。



○きれいにデータ作成するには○

反転によって、絵柄や白版がズれていないかよく確認してください。

弊社では裏から以下の順番で印刷を3回行います。



プロセスデータをひとつにまとめ、白データをふたつに分けるのはそのためです。

## ○データ作成時のご注意点○

データに不備がございますと  
再入稿をお願いすることとなり、  
ご希望の納期に間に合わない  
可能性がございます。  
以下の点にご注意ください。

弊社テンプレートを使用する。

AIもしくはPSD形式で保存。

「プロセスデータ」「白データ1」「白データ2」  
「仕上り確認用のイメージ画像」  
の4点を用意し、ひとつのフォルダにまとめ、  
圧縮して入稿する。



- ◆プロセスデータ(.aiもしくは.psd)
- ◆白データ1(.aiもしくは.psd)
- ◆白データ2(.aiもしくは.psd)
- ◆仕上りイメージ画像(jpgやpdfなど)